



Title	和歌
Author(s)	音代, 湘園
Citation	懷徳. 1937, 15, p. 69-69
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/88983
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

和歌

音代 湘園

満州

爾靈山の石に混れる藥莢ヤクキヤウを子供等拾ひ旅人に賣る (旅順)

駟足で上る爾靈山の石ころ道草いぎれ暑う汗に惱めり (旅順)

いかめしき警乗兵の乗りこめるこの夜行列車の客となりけり (満鐵)

神の世の大森林が石炭スエミに化し今の現ウツに糧カテを與ふる (撫順)

道といふ道はあらざり砂ぼこりうづまく荒地ひた走り行く (法輪寺)

俳句

山田 平歩

洞か峠 一句

青 芒 一 鳥 を 見 ぬ 峠 かな